

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 5 号	氏名	古久保 茂
学位審査委員	主査 松村 功啓 副査 藤田佳平衛 副査 畑山 範 副査 尾野村 治		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、多くの天然物や医薬品に含まれる多置換ピペリジンの容易な合成法を開拓しようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 合成法の鍵中間体となるのは、環境に優しい電極酸化反応を用いてピペリジンから調製できる 3,4-不飽和ピペリジン誘導体である。この 3,4-不飽和ピペリジン誘導体を鍵中間体とすることにより、2種類の置換ピペリジン誘導体、即ち、2-アリルピペリジン及び 3,4-ジヒドロキシピペリジン誘導体の合成に成功している。これらの合成手法は、従来にない高い選択性を与えるものであり価値が高い。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法は、緻密な解析の後に、2-ベンジルピペリジン及び光学活性 2,5-ジデヒドロアザ糖誘導体の合成へと応用されており、これらの応用反応においても高い選択性があることを見出している。さらに、これらの結果に対して論理的に妥当な考察を加えている。</p> <p>以上のように本論文は医薬品合成研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと